

# 感染と予防

prevention of Infection

No. 15

## 国際イベントに備えて②

— 昨今のインフルエンザ発生動向は変わってきた? —

ラグビーのワールドカップでは日本中が盛り上がりましたが、この時期、今シーズンは例年より早くインフルエンザが流行していました。インフルエンザウイルスは、勝手に国内に侵入し、病気を起こすのではなく、感染者によって持ち込まれるため、人の動きによって感染症の発生動向は変わっていくものです。

今回は、「国際イベントに備えて」と題した4回シリーズの2回目として、これから流行のピークを迎えるインフルエンザの発生動向や予防対策をお伝えしていきます。正しい知識を身につけ、流行シーズンに備えましょう。



株式会社 健康予防政策機構 代表・医師 岩崎 恵美子

### Q&A

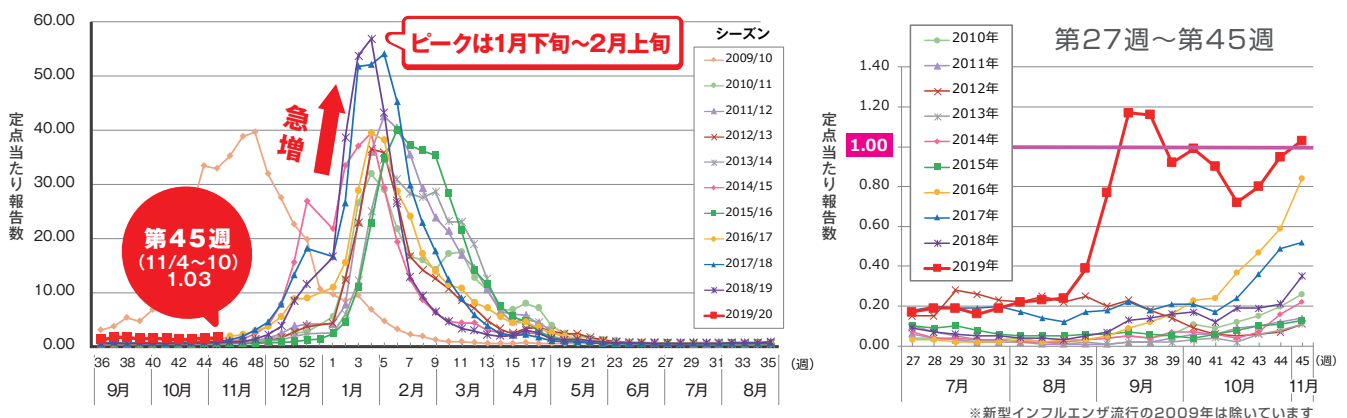
#### Q1 ◀ 昨今のインフルエンザの流行は早いのですか?それは、なぜですか?

今年は9月から学校で学級閉鎖や学年閉鎖等が相次ぎ、流行シーズン入りを発表する自治体も見られました。特に沖縄県では夏休み明けから患者報告数が急増し、9月にインフルエンザ警報が発令されました。

インフルエンザは例年12～3月頃に流行し、1～2月にピークを迎えます。近年、流行シーズン入りは11月の終わりから12月に発表されています。グラフより、今年の発生状況は、第31週(7月29日～8月4日)から増加し、第37週(9月9～15日)には1.17となり、流行開始の目安とされている「1.00」を上回りましたが、沖縄県が突出して多く、全国の値を押し上げていたため(沖縄県を除くと0.58)、厚生労働省より流行入りしたという判断はなされませんでした。

その後、沖縄県の報告数減少と共に減少傾向となりましたが、第43週(10月21～27日)から再び増加し、2019年第45週(11月4～10日)に1.03となり、11月15日に厚生労働省より、全国的なインフルエンザの流行シーズンに入ったことが発表されました。これは、例年よりも早い時期の流行シーズン入りで、1999年に統計を取り始めてから、新型インフルエンザの流行があった2009年の次に早いです。

#### インフルエンザの定点医療機関当たりの患者報告数



北半球にある日本の夏季は、南半球ではインフルエンザの流行シーズンである冬季にあたります。グローバル化により、渡航する機会も増え、特に夏休みには多くの人々が海外旅行に行きますし、国際的なイベント開催も要因の一つとなり、南半球の国々や、そこからウイルスが広がった東南アジアで感染した人が国内にインフルエンザウイルスを持ち込み、流行を起こす可能性があると考えられています。グローバル化が進んだ現代社会により、これからの日本のインフルエンザ流行状況は、従来の冬季の流行前に、流行のピークが見られるという動向になってくる可能性が考えられます。

## Q2 インフルエンザにかからないためには、どうすればよいですか？

インフルエンザウイルスは、鼻とのどの間（上咽頭）の粘膜で増えるので、感染者の鼻水、くしゃみに出てきます。そのため、鼻をかんだ手には、ティッシュペーパーを通してウイルスが付着したり、くしゃみでウイルスが周囲に飛散します。飛散したウイルスに触れたり、患者の手に付いたウイルスに触れた手で、鼻や口に触れて、インフルエンザに感染します。

インフルエンザは、自分の手でウイルスを拾い、それを鼻、口などへ運んで、かかってしまうことが多いので、一番有効な手段は、手に付いたウイルスを手洗いや手指消毒で除くことです。また、人の手がよく触れる箇所をこまめに掃除し、清潔に保つようにしましょう。

うがいは、のどの粘膜に十分な潤いを補給し、空気が乾燥して気道粘膜の働きが弱まることを防ぎます。

インフルエンザ対策として、手洗い・手指消毒と、うがいを励行しましょう。

ウイルスはこんなところについています



## Q3 長期間設置されたままのアルコール消毒薬に効果はあるのでしょうか？

開封後は、使用条件や保管環境による影響が異なるため、各々の安定性を保証することは困難です。開封後は、早めに使用しましょう。未開封での使用期限は2年から3年ですので、2年や3年に1回の取り換えや買い換えをお勧めします。

使用期限を気にするだけではなく、適切に使用されていれば、期限内に使い切ることは可能であると考えられます。手指消毒の励行にも努めましょう。

未開封での使用期限の目安

医薬部外品3年(手指消毒剤)	食品添加物用2年(アルペット製剤)
厚生労働省の許認可のもとに製造販売しており、許認可の際に3年以上品質の安定が確認されているため、薬機法上は期限表示不要	食品添加物製品のため、法律的に原則、期限を定める義務がない

10年前の新型インフルエンザが流行した際に、パブリックスペースの出入り口に手指消毒剤を設置し、今もそのまま設置されている施設を多く見かけますが、**使用したい時にすぐに使える場所にも設置**しましょう。アルコール手指消毒薬は、**外から施設内等に入る時**はもちろん、**不特定多数の人に接したり、多くの人が集まる場所で仕事をされる方々に使用**していただきたいです。身近に置き、手が洗えない場合の応急措置として、ぜひ手指消毒をしてください。**手指消毒**をすることは、**自分自身を感染から守る**ために、また、**感染拡大防止**につながります。



編集チームのおすすめ

感染症や食中毒対策に！

幅広いウイルスと細菌に効く☆  
効果の高い「酸性アルコール消毒剤」です。

速乾性手指消毒剤  
ウィル・ステラVH  
(指定医薬部外品)

手荒れしにくいのがgood♡

ご質問・ご感想はこちらまでどうぞ [✉ kansen-yobo@saraya.com](mailto:kansen-yobo@saraya.com) 感染と予防  [🖥 pro.saraya.com/kansen-yobo](http://pro.saraya.com/kansen-yobo)